

造影CT検査を受けられる患者さまで 糖尿病薬を服用している方へ

糖尿病薬のうち、ビグアナイド系の糖尿病薬を服用している方の場合
頻度としてはまれですが、造影CT検査後に、乳酸アシドーシスという
重篤な副作用が起こることがあります。

乳酸アシドーシスとは、初期症状として食欲不振、嘔気、嘔吐、腹痛、下痢などの
胃腸症状が急激に出現し、進行すると倦怠感、筋肉痛、痙攣、脱力感、腰痛、胸痛
過呼吸、脱水、低血圧などを引き起こし、昏睡状態に陥ることもあります。

万一の副作用を防止するため

ビグアナイド系の糖尿病薬を服用している方は、造影CT検査当日及び
検査前後96時間は服用なさらないでください。

《ビグアナイド系糖尿病薬一覧》

一般名	商品名
メトホルミン塩酸塩	グリコラン、メデット、メルビン、ネルビス、メトグルコ メトホルミン塩酸塩「トーワ」、メリオン
ブホルミン塩酸塩	ジベトス、ジベトンS、塩酸ブホルミン「ミタ」
メトホルミン塩酸塩含有の配合薬	メタクト配合錠LD、メタクト配合錠HD

下記の期間、お薬を服用しないでください。

